

株式会社ハイレックスコーポレーション

2024年10月期 第2四半期決算のご説明

2024年7月31日

1. 決算概要（連結）
2. セグメント別業績（地域別）
3. 営業利益～純利益（連結）
4. 連結貸借対照表
5. 設備投資の状況
6. 2024年度 通期業績予想
7. 資本コストや株価を意識した経営の実現について
8. 中期経営計画値

決算概要（連結）～
地域別説明（日本・北米・中国・アジア・欧州・南米）
営業利益～純利益

決算のポイント（連結）

【FY24Q2実績：増収増益】

サマリー

- 売上は、主要地域では部材供給の制約緩和、自動車メーカーの生産回復で増加。
- 主要通貨の円安（ドル→136.95→148.26）で、邦貨換算額は増加。

地域セグメント別

- 日本 減収増益
- 北米/南米 増収減益（外貨ベースでは売上比微増）
- 中国 増収増益
- アジア 増収減益（外貨ベースでは売上減）
- 欧州 増収増益

【FY24通期予想：前期比微減】

- 売上/営業利益は前期比で微減、経常利益は横ばい、純利益は増加

決算サマリー（連結）

(百万円)

	2024年10月期 第2四半期実績	前年同期	変動-金額	前年同期比-率
売上高	154,400	142,945	11,455	+8.0%
営業利益	163	▲154	317	- %
経常利益	1,989	▲279	2,269	- %
親会社に帰属する 四半期純利益	192	▲960	1,152	- %
営業キャッシュフロー	6,855	2,171	4,684	+215.7%
減価償却費	4,773	4,767		
設備投資	4,800	4,524		

【売上】

主要地域では部材供給の制約緩和、自動車メーカーの生産回復で**増加**
 主要通貨の円安（ドル対136.95→148.26）で、邦貨換算額は**増加**

【営業利益】

対前年で**増益**

プラス：各グループ会社での販売価格改定を始めとした利益改善の取組み
 前期の半導体異常費用発生 → 当期は解消

マイナス：北米での操業トラブルに起因し労務費経費大幅増加で損益悪化

【当期純利益】

海外子会社設備の減損損失1.9億円計上および貸倒引当金繰入額2.6億円計上
 したものの、営業利益の対前期比増加、為替差益7億円、北米旧オフィス売却にともなう
 収益3.5億円等により、対前年で**増益**

2024年度第2四半期 地域別セグメント業績

HI-LEX CORPORATION

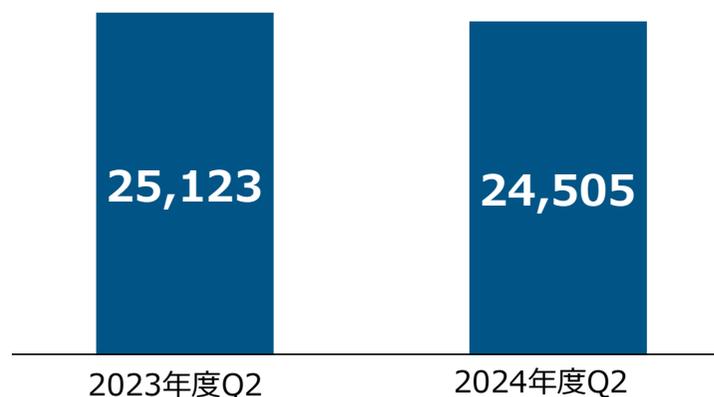
(百万円)

上段：売上高 下段：営業損益	2023年度 第2四半期実績	2024年度 第2四半期実績	前年同期比		
			金額	増減%	業績
日本	25,123 668	24,505 786	▲618 +118	▲2.5% +17.7%	減収増益
米州	47,642 ▲1,104	52,209 ▲1,753	+4,566 ▲648	+9.6% -	増収減益
中国	20,299 ▲528	23,735 539	+3,436 +1,067	+16.9% -	増収増益
アジア	35,668 2,452	37,200 1,752	+1,532 ▲700	+4.3% ▲28.6%	増収減益
欧州	13,282 ▲694	15,523 ▲15	+2,241 +678	+16.9% -	増収増益
南米	929 ▲115	1,225 ▲45	+296 +69	+31.9% -	増収減益
連結調整	- ▲832	- ▲1,100	- -	- -	-
合計	142,945 ▲154	154,400 163	11,455 +317	+8.0% -	増収増益

地域セグメント 日本

■ 売上高(対外部顧客)

(百万円)



■ 営業利益

(百万円)



■ 変動

売上高 618百万円減 (前年同期比 2.5%減)

営業利益 118百万円増 (前年同期比17.7%増)

【売上変動要因】

- ① 主要顧客への販売は復調。
- ② 一部顧客で想定外の生産停止にて減収。(影響約12億円)

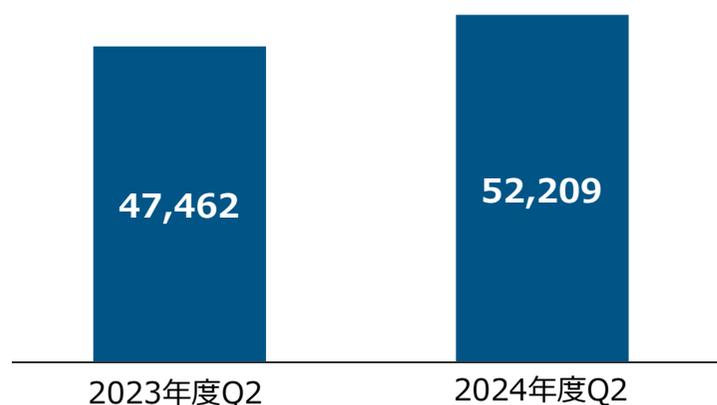
【営業利益変動要因】

- ① 主なプラス要因 : 前年度発生 of 半導体異常費用が当期は解消
- ② 主なマイナス要因 : 減収による操業度差異
外貨建て仕入コスト等
開発費増加

地域セグメント 北米

■売上高

(百万円)



■営業利益

(百万円)



■変動

売上高	4,566百万円増 (前年同期比 9.6%増)
営業利益	648百万円減 (前年同期は1,104百万円の損失)

【売上変動要因】

- ①アメリカ UAWスト、顧客減産等の影響で売上減
- ②メキシコ 日系自動車メーカー向が好調、大幅増
- ③北米全体で、円安ドル高による換算レート差 約35億円増

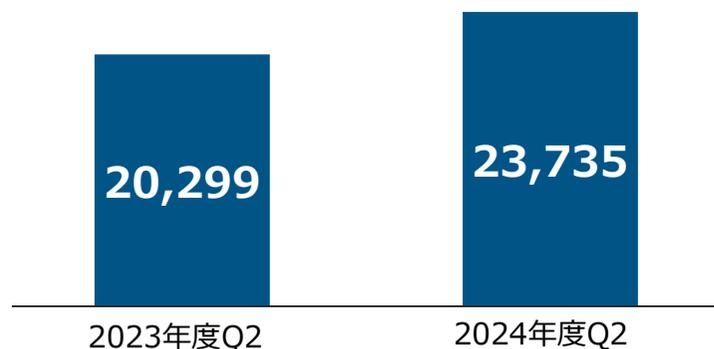
【営業利益変動要因】

- ①アメリカ 子会社での操業トラブルを中心に労務費/経費大幅増加で損益悪化
- ②アメリカ 売上減に伴う操業度影響
- ③メキシコ 人員逼迫、生産増に伴う時間外対応での労務費増加

地域セグメント 中国

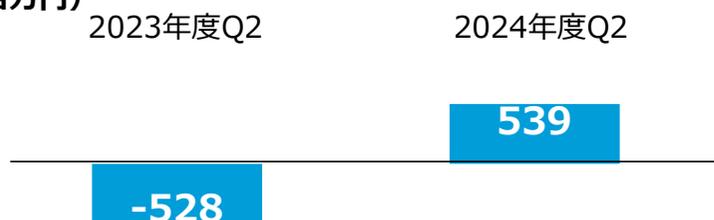
■ 売上高

(百万円)



■ 営業利益

(百万円)



■ 変動

売上高 3,436百万円増 (前年同期比 16.9%増)

営業利益 1,067百万円増 (前年同期は528百万円の損失)

【売上変動要因】

- ① 中国系自動車メーカー販売増加。NEV向け製品も拡大
- ② 日系メーカーはICE向けが中心。前年比で伸び悩み
- ③ 円安元高による換算レート差 約7億円

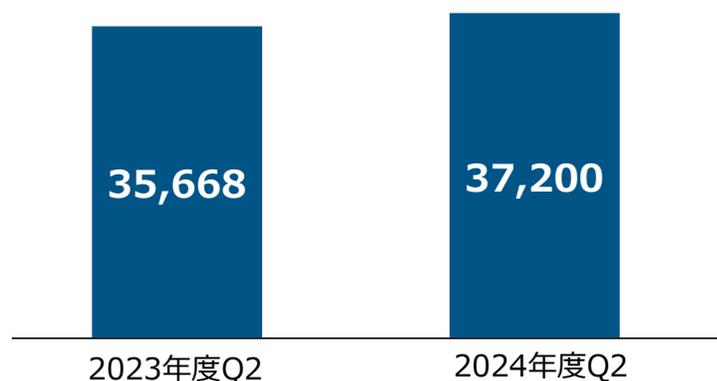
【営業利益変動要因】

- ① 主なプラス要因 : 材料費率改善 (CR/仕入為替影響)
- ② 主なマイナス要因 : 労務費/経費増加

地域セグメント アジア (韓国、インド、インドネシア、ベトナム)

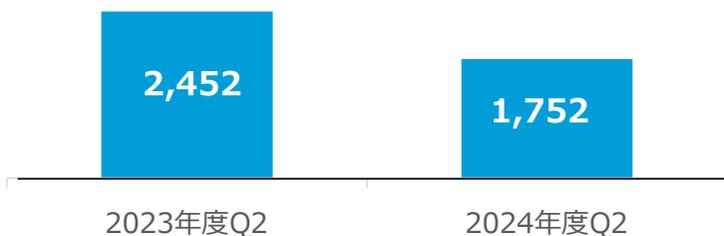
■ 売上高

(百万円)



■ 営業利益

(百万円)



■ 変動

売上高 1,532百万円増 (前年同期比 4.3%増)

営業利益 700百万円減 (前年同期比 28.6%減)

【売上変動要因】

韓国：前年顧客増産特需が解消しボリューム減となるも為替影響で増加
インド：インド市場堅調、日系自動車メーカー向け販売増加
インドネシア：利上げ影響で自動車販売減。為替影響増あるも全体で減少
ベトナム：景気低迷。二輪・自動車販売減。為替影響増あるも全体で減少
(円安による為替影響はアジア全体で約30億円)

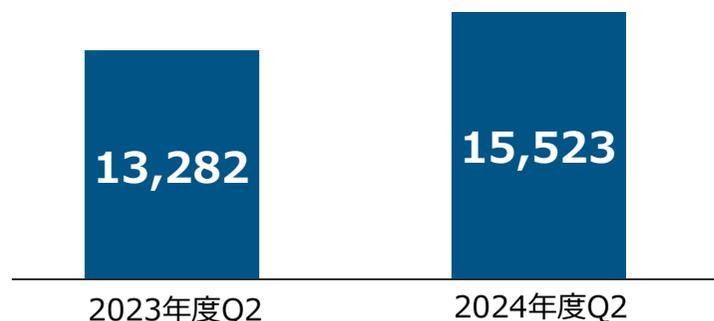
【営業利益変動要因】

- ① 主なプラス要因：インド 売上増で操業度上昇 + CR効果
ベトナム CR効果
- ② 主なマイナス要因：インドネシア・韓国 売上減による操業度低下
労務費・経費増

地域セグメント 欧州 (ハンガリー/イタリア/スペイン/チェコ/セルビア)

■売上高

(百万円)



■営業利益

(百万円)



■変動

売上高 2,241百万円増 (前年同期比 16.9%増)

営業利益 678百万円増 (前年同期は694百万円の損失)

【売上変動要因】

ハンガリー：欧州系減少するも日系向け増加。為替+影響でさらに増加
イタリア：一部顧客向け減少でボリューム減となるも為替+影響で増加
スペイン：欧州での生産再編によりボリューム減。為替+影響入れても減少
チェコ：主要顧客向け販売堅調でボリューム増。為替+影響もあり増加
セルビア：欧州での生産再編で増加。
(円安による為替影響は欧州全体で約17億円)

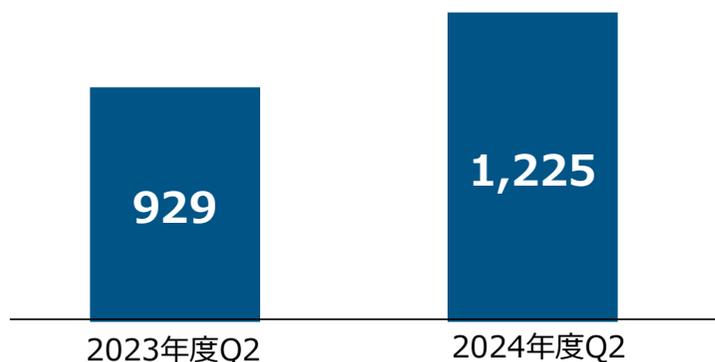
【営業利益変動要因】

- ①主なプラス要因：売上増に伴う操業度影響、材料CR
- ②主なマイナス要因：労務費経費増加、一部顧客破綻在庫評価減

地域セグメント 南米

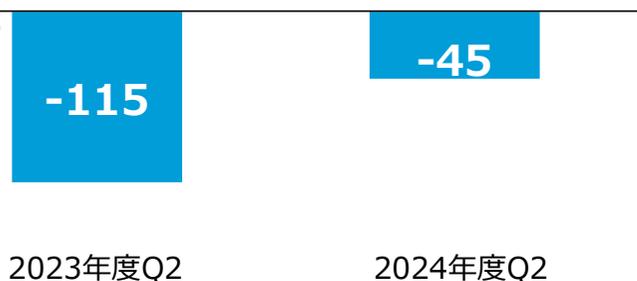
■売上高

(百万円)



■営業利益/営業利益率

(百万円)



■変動

売上高	296百万円増	(前年同期比 31.9%増)
営業利益	69百万円増	(前年同期は115百万円の損失)

【売上変動要因】

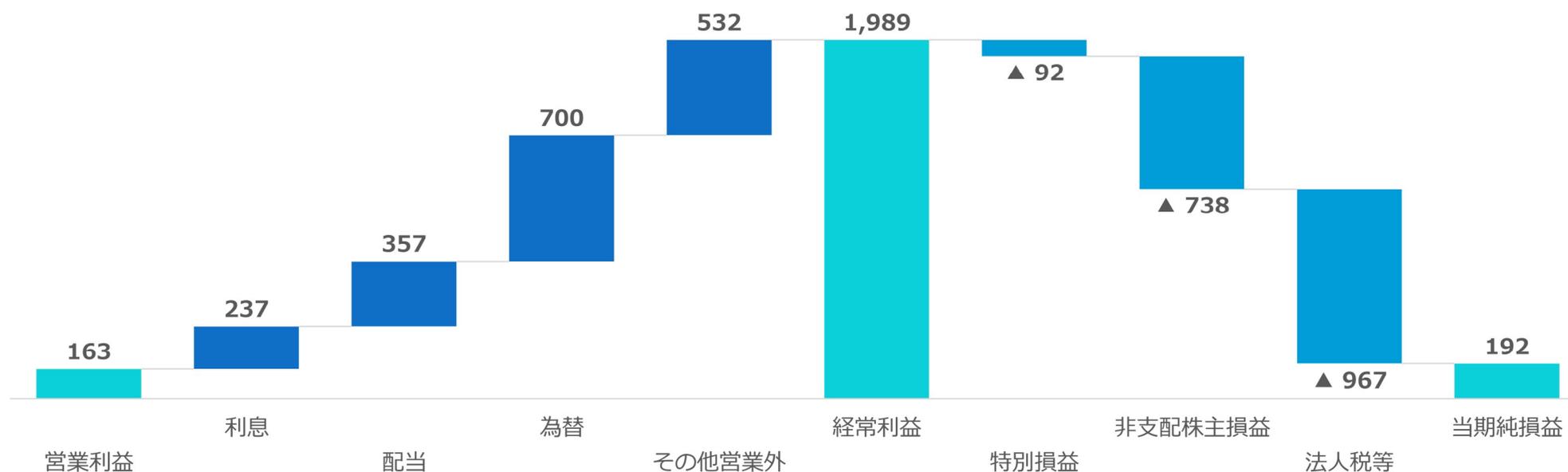
- ① 主要顧客向け販売が堅調に推移
- ② 前年同期は半導体不足で顧客操業停止・・・当期発生無し

【営業利益変動要因】

- ① 主なプラス要因：売上増に伴う操業度上昇、異常運送費の解消
- ② 主なマイナス要因：管理費増加

営業利益～純利益（連結）

(単位：百万円)



為替 : 23Q4末… ¥149.58/\$、¥158.00/€、¥20.46/元 → 24Q2末… ¥151.41/\$、¥163.24/€、¥20.83/元

特別損益他 : アメリカ子会社旧オフィス売却益 +354、貸倒引当金繰入額▲264、欧州子会社設備評価減▲199

連結貸借対照表～設備投資の状況～通期業績予想

連結貸借対照表

HI-LEX CORPORATION

(百万円)

	2022年10月	2023年10月	2024年4月	対23年増減
流動資産	143,258	151,671	150,294	▲1,376
現預金	40,533	46,310	46,831	+520
受手・売掛金	46,883	51,475	48,271	▲3,203
有価証券	8,949	10,000	10,469	+468
棚卸資産	37,880	36,364	37,758	+1,394
その他	9,012	7,520	6,963	▲557
固定資産	127,055	129,317	134,604	+5,286
有形固定資産	68,766	66,052	66,564	+512
無形固定資産	3,604	4,027	3,765	▲261
投資その他	54,677	59,237	64,273	5,035
資産合計	270,314	280,994	284,903	+3,908

	2022年10月	2023年10月	2024年4月	対23年増減
流動負債	67,268	74,029	72,650	▲1,379
固定負債	14,267	15,785	17,537	1,752
負債合計	81,535	89,814	90,187	373
株主資本	135,738	131,054	130,189	▲864
その他包括利益累計額	36,581	44,339	48,178	3,839
新株予約権	33	33	33	—
非支配株主持分	16,424	15,752	16,313	560
純資産合計	188,778	191,179	194,715	3,535
負債・純資産合計	270,314	280,994	284,903	3,908

<指標>

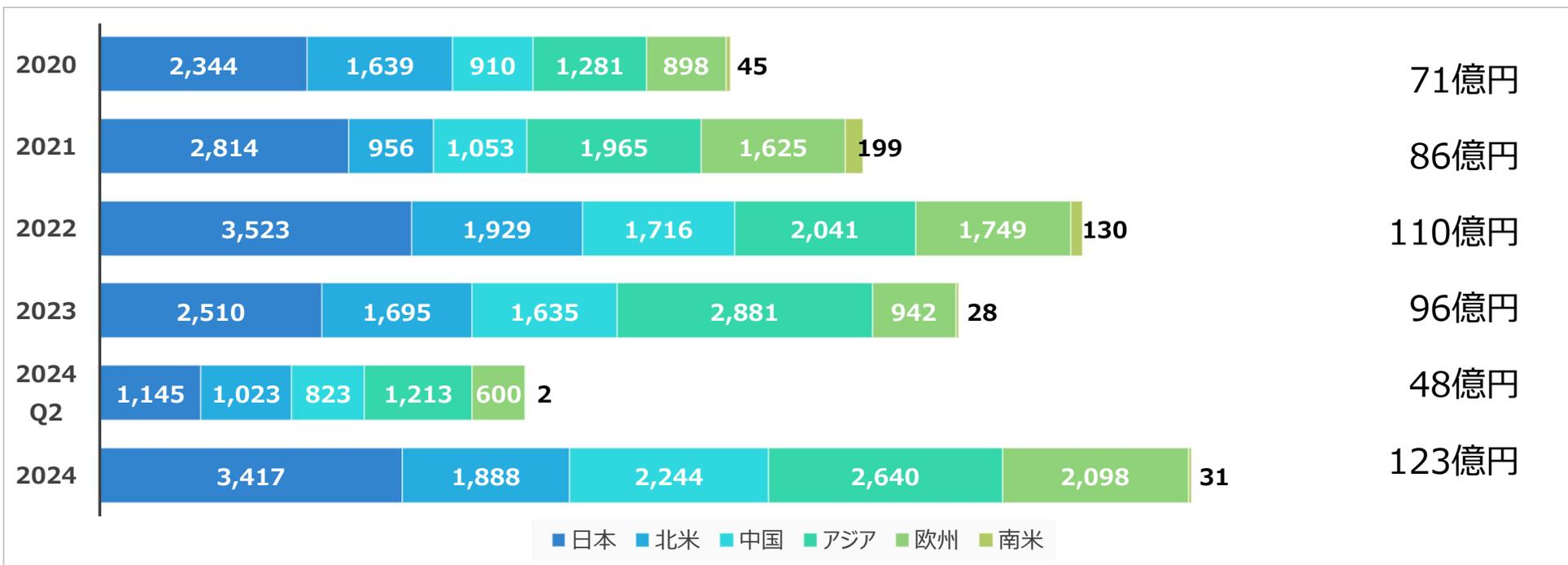
	2022年10月	2023年10月	2024年4月	対23年増減
自己資本比率	63.7%	62.4%	62.6%	+0.2pt
固定比率	67.3%	67.6%	69.1%	+1.5pt

<期末日 主要通貨為替レート>

	2022年10月	2023年10月	2024年4月	対23年増減
米ドル	144.81	149.58	151.41	+1.83円
中国元	20.37	20.46	20.83	+0.37円
ユーロ	142.32	158.00	163.24	+5.24円

設備投資の状況

(百万円)



2024年は総額123億円の設備投資を計画。
欧州(チェコ・ハンガリー・イタリアを中心に生産設備)
アジア(ベトナム生産設備増強)
日本(最適生産の為に生産設備の投資・更新)

2024年度 通期業績予想（連結）

想定為替レート： ¥142.62/\$、 ¥20.07/元、 ¥151.58/€

(百万円) j

	2024年10月期 通期見通し	(前年) 2023年10月期 実績	増減 (対前年) 上段：金額 下段：比率	前回公表 2024年10月期通期 予想	増減 (対前回) 上段：金額 下段：比率
売上高	294,200	298,623	▲4,423 ▲1.5%	294,200	—
営業利益	2,800	2,980	▲180 ▲6.1%	4,500	▲1,700 ▲37.8%
経常利益	5,400	5,327	+72 +1.4%	6,200	▲800 ▲12.9%
当期純利益	2,300	▲2,991	+5,291 —	3,900	+1,600 ▲41.0%

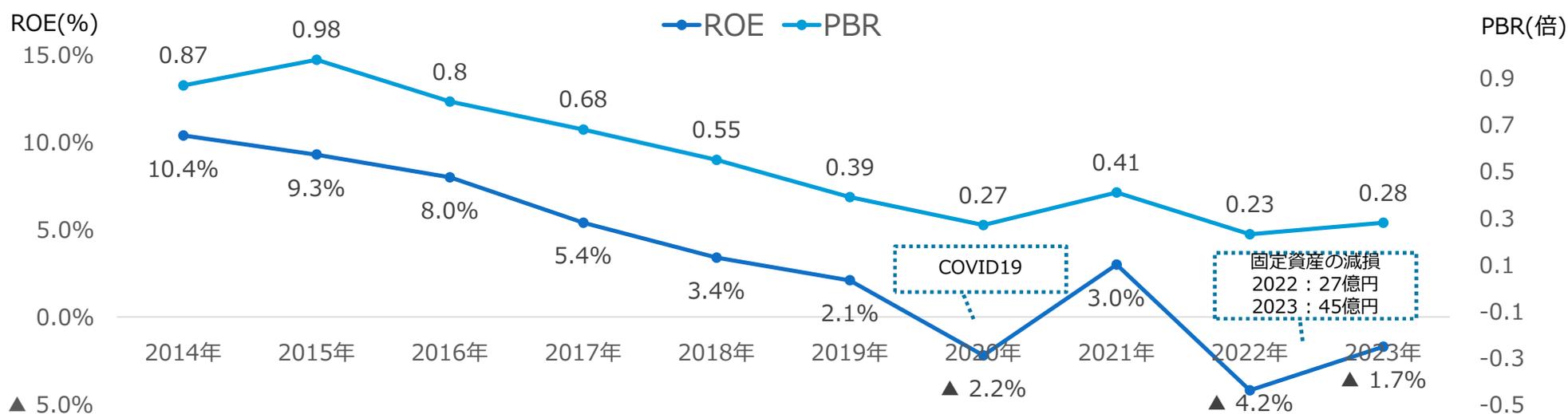
【売上予想】：前年実績比では減少：遡及値上げ前期比減少による影響

- 日本：一部顧客減産影響あるも全体では予想通り推移
- 北米：日系/韓国系向け販売が直近予想比で堅調
- 中国：日系向け販売で不透明感有り、
- アジア：インドネシア/ベトナム/韓国事業で減速
- 欧州：一部顧客減産影響を見込む
- 南米：顧客減産影響を見込む

資本コストや株価を意識した経営の実現について
～中期経営計画値

現状の評価（PBRとROE）

- ・利益率の低下が、株主投資家の期待する資本収益性の向上に繋がっておらず
当社株価やPBRが上昇しない主たる要因となっている。



売上高利益率	6.5%	5.6%	4.6%	3.4%	2.2%	1.5%	-1.8%	2.2%	-2.8%	-1.0%
総資産回転率(回)	1.04	1.1	1.16	1.03	1	0.99	0.81	0.88	0.95	1.06
財務レバレッジ(倍)	1.55	1.5	1.48	1.56	1.53	1.49	1.52	1.5	1.57	1.6

目標達成に向けた今後の取り組みについて

(1) 収益性の向上 … 事業基盤と成長基盤の強化

自動車事業

コア領域

(ケーブル/ウインドレギュレータ等の既存主力製品)

グローバルNO.1
『ものづくりの深化』
『付加価値』の追求

利益向上に貢献

さらなる信頼性
と競争力の向上

展開してきた各拠点
(欧州/中国/インド)の
事業収益性を強化

稼ぐ力の強化

成長領域

(モビリティ変革に追従した新しい主力製品・新たなビジネス分野)

自動車の開発・生産方法の変化
(代表的な例: EVへの移行)

自動車のSDV化
(Software Defined Vehicle)

当社トヨタ/その他製品領域における
モジュール化/パッケージ化 ニーズの高まり

当社モジュール製品へ
制御技術を統合する

周辺部品を統合し機能を付加した
商品性の高いモジュール製品の拡充

ドア(開閉)システム
サプライヤへ進化

非自動車事業

各事業部
(医療/産業機器)
の強みを活かした
現場とマネジメント
が一体となった
迅速な意思決定

新たな価値を持つ
ビジネスの展開

目標達成に向けた今後の取り組みについて

(2) 資産の効率性向上

政策保有株式の売却

政策保有株式
保有高

将来の成長投資への投入

連結純資産比
20%超

付加価値向上

利益改善

↓
10%
ターゲット

営業キャッシュフローの拡大

稼ぐ力の向上

目標達成に向けた今後の取り組みについて

(3) 財政状態/財務安全性

自己資本

- 経営と株主還元の双方の安定性を勘案したうえで適切な水準を維持しつつ、成長領域への投資ニーズに即応できるよう活用してまいります。

負債
(借入等)

- 自己資本とのバランスを勘案し負債(借入等)の活用も進めてまいります。

(4) IR活動の拡充

機関投資家向け

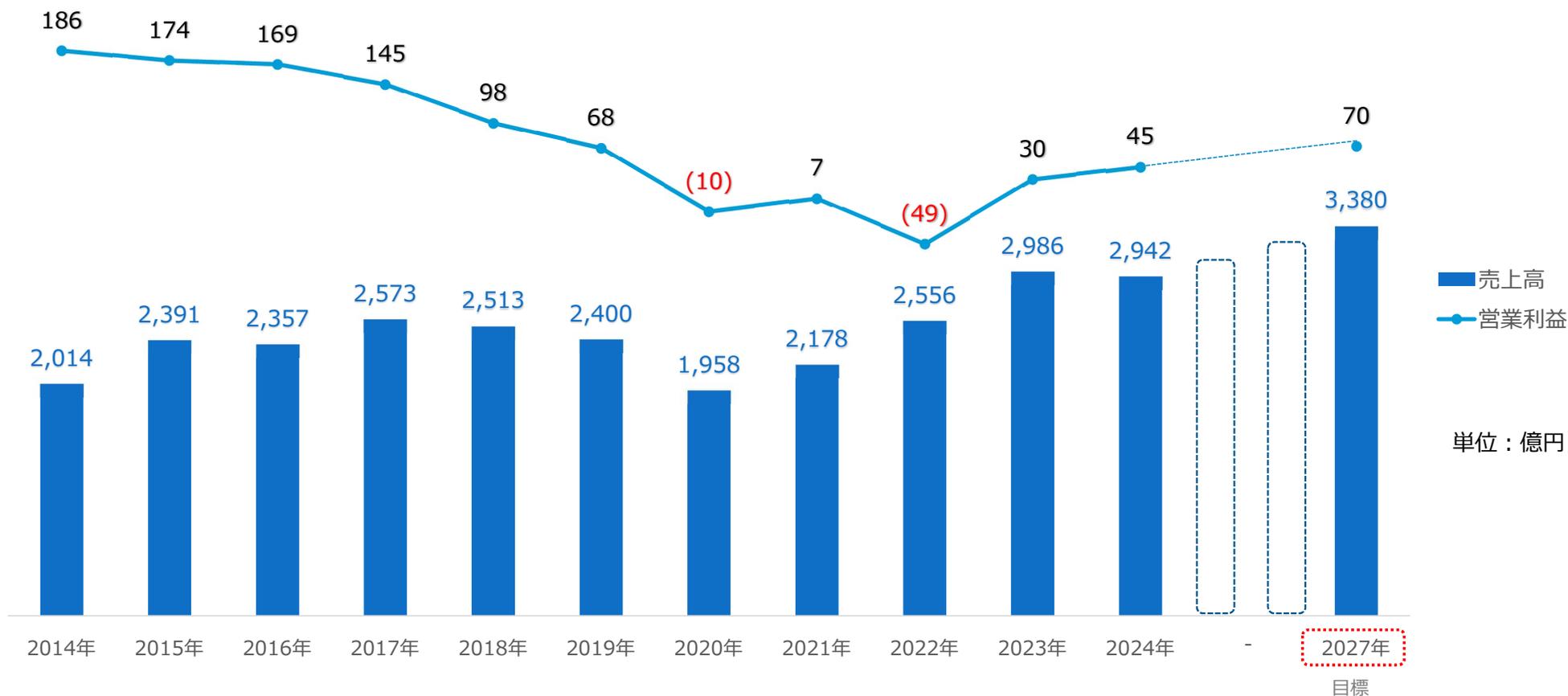
- スモールミーティングの拡充等

当社の置かれた事業環境と財務状況、
事業戦略とその経過を投資家と共有

個人投資家向け

- 説明会等イベントの活用で、より幅広い層を対象とした情報開示の推進

中期経営計画値



HI-LEX CORPORATION

これからも魅力ある技術と人財に磨きをかけ、
お客様に困り事があればまず最初に声をかけていただける会社、

『 To be the First-Call Company 』
for Customer's better choice !!

を当社のミッションステートメントとして掲げ、
その一つ一つのご縁を大切にHI-LEXコーポレーションは発展し続けます。

注意事項・免責事項

本資料は情報提供を目的として作成されており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社により作成されております。これら記述は将来における業績達成を保証するものではなく、国内外の予測困難なリスクや不確実性による影響を受けた結果、実際の業績等は見通しと異なる結果となる可能性があります。

当社は本資料の情報を利用した結果生じたいかなる損害に関して、一切責任を負うものではありません。

本資料に記載されている情報について、資料作成後の新たな情報の発生に伴い将来の見通しに関する記述を更新もしくは改訂することを当社は約束するものではありません。

本資料に記載されている情報の内容については、予告なしに変更される可能性があります。